

第 17 回統一地方選挙の必勝決議

2009 年夏、自民党の中央集権・官僚政治を断ち切り、真の民主主義政治をめざす民主党が成し遂げた政権交代は、日本の政治史の転換点を作り出した熱気とともに、国民に大きな期待と希望を抱かせるものであった。しかしながら、その後の政権運営において民主党は、前政権が残した負の遺産の大きさ、更には政治とカネの問題や米軍基地の普天間移転問題等の政治的課題が顕著となり、政権交代後、初めての参議院議員選挙で大敗し、国民の厳しい審判が下される結果となった。

私たちは、このような状況下においても政権交代の一役を担い、精一杯の活動を展開してきた。引き続き、応援団として支えていくが、応援団であるがこそ主張すべきは、しっかりと主張し、働く者、生活者の立場に立った政策の実現を果たさなければならないと考える。

その上で、来春に予定される統一地方選挙は、「国民の生活が第一」の政策を実現しようとする民主党の政権基盤を強化させるとともに、続いて行われる大阪市長選挙、大阪府知事選挙にも影響を与える、まさに大阪府の未来を決める重要な戦いである。地域政党の出現や、十分な議論もないまま大阪府の形さえも変えようという動きに対抗し、連合大阪のめざす地域主権と真の大阪再生を実現するために積極果敢に立ち向かわねばならない。

私たち連合大阪は、すべての労働者が大切にされる「希望と安心の社会」を地域から実現していくためにも、第 17 回統一地方選挙において、連合大阪推薦候補者全員の当選をめざし、組織の全総力を結集した戦いを構成組織・地域地区協議会とともに展開していく。

以上、決議する

2010 年 10 月 22 日
日本労働組合総連合会大阪府連合会
第 21 回 地方委員会